



支那軍語
張さんに電話をかけてくれと云ふことを打電
話張先生でターテイ
ンホアチアンシエン
オン、電報を打ちに行
けと云ふなら打電報去
でターテイエンバオチ
ユイと唱ひてゐる。

銀行その他の割當

報、貯債二萬五千圓

平地方の消化引續き好調

報國債(五圓と十圓)貯蓄債(銀行並に産業組合、無盡會社券(七圓五十錢と十五圓)は六等何れも約二千枚の額面の割當で報債二千二百五十圓は即日買切れ貯債七千二百廿圓は来る七月十日までの賣出期間に對し残り少なくなつてゐること既報の如く平市に於ける兩債の取扱は農銀支店今回の割當で報債七五〇枚貯債七六〇枚をはじめ其の他の

一萬三千の養鶏に

飼料難を緩和する

平市養鶏組合の産卵報國に

配合飼料月六トント

組合を結成した平養鶏同業は會員現在一五一戸で一萬三千羽の飼鶏に達してゐるが千羽飼以上のものは
宇三倉の松崎純一郎一五〇〇
上平窪木村藤太郎一三〇〇
村木町鈴木定藏一二〇〇
月見町根本一馬一一〇〇の四戸を

食糧報國其他の

協議會

平市では来る七月一日の興亞奉公日に午前九時半から食糧報國、貯蓄奨励、金賣却、常會等につき振興委員、官衛長各種関係長、婦人團、新聞記者等集り協議會を開催する

工業校理立て

委員の協議

平工業校の敷地埋立が券銀を

平織物外商組合

銃後會へ寄附

銃後會へ寄附

銃後會へ寄附

はじめ諸物價高から請負費の増額に悩んでゐること既報の如くだが明二十八日午後一時右に關して左記委員會を開く
▲野崎滿藏 選沼龍輔 川崎文内正一 萩原義雄 藤田榮助 鈴木庫左右
平織物外商業組合では最近の總會に費用を節して得たる金五圓を今二十七日代表者松本榮一氏から市の銃後奉公會へ寄附した

石城から理事、評議員四名

縣藥劑師定時總會

縣藥劑師會第十五回定時總會は廿四日午後一時から福島市公會堂に於て開催されたが出席七十八名で石城方面より山野邊、關内、小野(弘)、阿部康、瀨尾、足立、鷲の八氏出席十三年度決算、十五年度豫算及び醫藥品並に部外品配給に關する厚生省指示を協議終つて役員改選を行ひ石城關係左記當選した
▲縣長、久和警防課長、味岡衛生課長、丸山度量衛生所長等出席する向は十六年度の縣大會は平市中決定した
▲本部長關係理事山野邊東次郎(再選) ▲評議員關内榮助(同小野弘、同菅野新選)

慰問演藝團明日歸る

任を果した一同の無事

慌だしい陣地に汗だくの奉仕を続け約四十日目で歸還した平市から送つた本縣代表慰問演藝團一行は豫定の如く東京着と同時に宮城、明治神宮、靖國神社を拜し昨二十六日福島市に歸郷を兼ねて次第を報告、一日休養の明二十八日午後二時五十分平澤の警越東線で郷土歸着市民多数の歓迎を受けて留守社子鐵道に一行の無事歸郷を告げることになつてゐるが席温まる暇もなく二十九日午後一時から公會堂に於て大陸の陽に焼けた元氣な姿で慰問演藝の大會を市主催の下に一般に公開するこ

田植の總出

留守宅に用心

石城郡泉村の下小川米穀商鈴木司方に於て去る二十五日一家總出の田植の留守中である午前十時頃裏戸を破つて侵入した賊のため取金庫内の現金約七百圓を劫取されたが此の日同時刻頃に隣家の柴田吉之助方でも現金三十四圓の盗難に遭ひ次へで同部落の三戸理作鈴木初彌方兩戸でも荒されてゐるので所轄植田置が犯人嚴

戦地の便り

武運拙く貫通銃創

残念乍ら後送さる

探中だがまだ逮捕されぬ
平市下平窪出身 折の内太一
舞啓、初夏の候と相成りまして、各位には御壯健の由と念願いたし居ります、そして戦死せる軍友の仇を晴らし東洋平和確立のため粉骨砕身したいと思つて居ります、戦況は中上ぐりよりも新聞ニュースの方が詳しいのですから御知らせ致します、皆々様の益々御健康ならんことを中支の空より御禮いたします、御一統によろしく、早々

一生懸命頑張ります

木村長藏

舞啓、初夏の候、皆々様に如何御起居居されますか御無言に打過ぎ誠に申譯ありません、小兵は御蔭様にて益々元氣旺盛車務に精勵いたし居りますから御休心下さい、まだ手柄を立てる様な機会に會ひませんが時來たらば一生懸命頑張ります

今日の果菜市況

| 品名 | 高値 | 低値 |
|---------|-----|-----|
| 王(菜)一貫 | 三〇〇 | 二〇〇 |
| 胡瓜(十本) | 三〇〇 | 二〇〇 |
| 茄子(百ヶ) | 三〇〇 | 二〇〇 |
| 馬鈴薯(一貫) | 三〇〇 | 二〇〇 |
| ナタ豆(一貫) | 三〇〇 | 二〇〇 |

反當多收蘭實績(二)

三重縣多賀郡箕田村夏見 栗田定作氏口述
一、太陽光線の利用、梅園には太陽の光線を十分に當てる必要から致しまして今までの桑園が根刈で畦間四尺株間二尺五寸から三尺の密植であつたものを十年の春に一畦間に抜き取りまして畦間を八尺といたしました、此時の秋葉量は前年の四割減でありましたが晩秋には秋葉量が増加致しまして年通して前年と變りなき秋葉量を擧げたのであります、
二、完全なる配合肥料の施肥、昭和十年に際して裁桑講習會がありまして其の時東京帝大農學部の春日井教授の講演の内に桑園に加里肥料の必要なることを話され桑葉酸加里は十七の割合が良い、之れを娘十、八と覚えて居れと云はれたことを今も記憶して居ります、
三、完全なる配合肥料の施用、加里肥料が桑に必要なることは九片桑二號、追肥には九片

蓬蓮草(百把) 三〇〇
玉(一貫) 三〇〇
生(梅)一貫 二〇〇
箱(一貫) 三〇〇
以上原單位
三〇〇

ホシエス二色
シヤープペンシル
一本金五拾錢以上
シヤープでした一流
品ホシエスを御指名願
ひます。
御進物としては立派な
化粧箱を用意して御座
ります。

文魁文堂
電話三一三番

母テウ儀永らく病氣の處本二十
五日早曉天壽を全ふし死去致候
に就ては来る二十八日午後二時
自宅出棺菩提院に於て葬送の儀
を相營可申候に付此段御通知申
上候
追而時局柄花輪供物等一切在勝手御謙退申上候
昭和十五年六月二十五日
喪主 加藤邦武
男 佐藤一平
女 親戚一同

刺意
尼子亭
利府家系

御誂の既製品
高島屋洋服店
電話三三三番

桑追肥三號を使用すること、ありませぬ、私のところの経験し堆肥の施用によつて地力が增加すると共に配合肥料も増加すると致しました、私の裁桑は全部が蠶の爲と云ふ事が目的であります、肥料も堆肥を基とし單肥は使用せず完全な配合肥料によりまして發作本位の桑を作つて居ります、肥料は桑の生命でありませぬから優良なる肥料は優良なる桑を生産すると云ふ信念をもつて進んで居ります、
四、木灰の施肥、總反別一反八畝歩(内雜蠶用桑園畝二畝十歩、初秋二畝、晩秋一畝計五畝十歩、對全桑園二九。六パーセント)壯用春秋兼一反二畝二十歩

豚の衛生

入梅期と豚の衛生 (下)

恐ろしいのは

コレラと丹毒

以上のやうな方法で先づ健康は得てゐるがコレラか丹毒にかゝつた場合の早期発見は双方とも發熱し腹痛にもぐらうとする丹毒の場合には直ちに食慾は止まり二日目頃から頸部のリンパ線が梅干型にはれ上りコレラは血管が破壊されて最初は花が咲いたやうに開きやがて大豆粒の如くに固まる、こんな症候を呈することゝ食慾不振時代に警戒すべきであつて一步先んじて入梅當時の管理が最も効果的の様である

多摩豚の復興

飼料難から一時者豚まで市場に出した程の苦難を見てゐた東京都下特産の多摩豚も府の飼料対策から漸く減少を喰ひ止め再び増殖返り咲きの態度を示して来た、

専ら以來家畜の飼育に對する方向は急激に變化し従來何を問はず分數的に飼はれてきたものゝうち最もこの激變に會つたものは養豚で堆肥捨出が第一義的目的であつても飼料対策には相當行き届んだ結果、

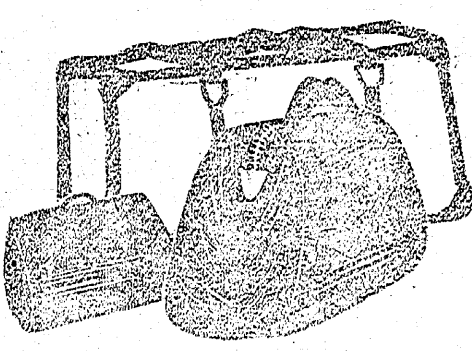
東京都は立川種畜場及び養豚組合の意見を取まゝとめて出来上つたのは東京市内の厨芥を代用食とすることにし、既に運搬用木炭トラック五台を配備した、豚一頭飼育する農家に對して心配しやうと云ふトラック部隊は、

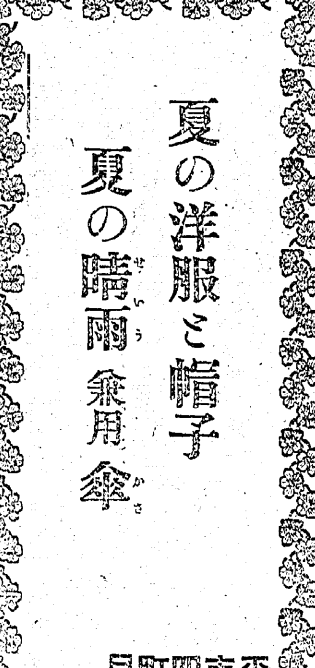
前日市内の各家庭から拾へられる残菜、残飯その他厨

菜を各區各町の或一定場所に集積しこれを目掛けて夜明前に出動し放射線的に府下に運搬しやうと云ふのであり目下往路の空トラックの疾走は不經濟であるので農産物の運搬その他合理的な運行について研究されて居り六月末から活動を開始する豫定である(完り)

スペイン GHN 元詰
ゴルフポートワイン
 甘味葡萄酒
 御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
 (平二) 西村屋薬舗 (電三)

附屬産院 新設
 妊産婦入院隨意
 産科 婦人科
木村病院
 電話 一六四番
 平市新川町

カバンと洋品類

 (話電) 屋砂眞 (前驛市平り) (通道新)

夏の洋服と帽子
 夏の晴雨兼用傘

 目町四市平
やるつ
 〇四一電

新設 治淋 新薬
生公華
 淋病 尿道炎 腎臓炎 膀胱炎
 山野造薬局
 電話 二〇二番
 九十五番
 新薬 六〇七号

内科、小児科、花柳病科、外科、耳鼻喉科、レントゲン科
 平市田町 電話 五二三番
高久病院
 院長 醫學士 高久忠

便利で 経済な 日下家政婦會の 派遣婦を御利用下さい
 身元確かで品行方正ですから 何を任せしても安心です
 平市一丁目三十一番地(電話七二三番)
日下家政婦會
 會長 日下すい子
 會員同志の御加入(派遣なき閑暇に裁縫や)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

和洋雜貨、金器器屋
益屋商店
 九九・九電

病室増築、手術室完備
 産科 婦人科
五十嵐雄二
 平市新川町 電話 三六九番

平市田町(三丁目裏川岸通)
明善堂眼科醫院
 電話 六六九番
 入院應需(自炊の便あり)

平市元共済病院跡
平病院
 院長 醫學博士 鈴木定藏
 小児科 院長 鈴木定藏
 内科 院長 高橋俊幸
 皮膚科 院長 鈴木定藏
 レントゲン科 院長 鈴木定藏
 物理療法科 院長 鈴木定藏
 藥劑科 部長 吉本孝平
 診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
 夜間診療に從事す(急患は此の限りにあらず)

安田系統の帝國海上
帝國保險株式會社
 平代理店 關内正一
 事務取扱者 阿部助次郎
 平市三丁目 電話 一六番

診療科目
 一、齒科 一般
 保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
 一、口腔外科
 一、レントゲン科
 平市田町(松月堂向) (電話 五〇九番)
中野齒科醫院
 院長 日本齒科醫學士 中野正次
 日本醫學士 關谷伍郎
 主任 佐藤重義